

みなさんと力あわせ 粘り強く要求実現

日本
共産党



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
徳増 きよ子



市議会議員
植田 和子

予算凍結！市長異例の陳謝

先行き不透明な 総合体育館建替え

建設費45億円の総合体育館建替え事業。3月議会で各党から様々な意見が…。いっぽうで市長は、H25年度予算に約3億円の建設費を計上。予算は可決されたものの、議会と十分協議せず計画をすすめたと陳謝。予算執行は当面おこなわないと表明しました。前代未聞の出来事です。日本共産党は、市の建替え計画の規模を見直すよう提案。今後、特別委員会が設置され、検討されることになりました。

子育て支援

通院で小学校6年生まで 子どもの医療費助成拡充へ

今年12月頃から、通院の医療費助成対象年齢が、小学3年生から6年生に拡大（入院は中学3年生まで）されます。「それは良かった」―お母さんや医師から喜び

くらし応援

「保護が必要な人には受けてもらう」と答弁 就学援助の手続きを改善

生活保護基準以下の生活をしている世帯で保護を利用しているのは1割。残りの9割が放置されています。憲法25条を体现したのが生活保護法であり、生きるための権利の社会保障です。担当部長は「真に保護を必要とする方には受けてもらう」と答弁しました。

「市民の賛同は得られていない」と市長も答えざるをえない中で、小中併設校と総合体育館建替えが予算化され、予算成立をめぐってきびしい攻防が伝えられた3月議会。日本共産党は、最後まで市民の立場でスジを通して反対を貫きました。市民の願い実現でも、様々な前進がみられました。

教育・文化

全校に特別支援学級の設置約束 文化会館駐車場の有料化廃止へ

知的障害、情緒不安定などの児童生徒のための特別支援学級。流山市は近隣市に比べて大きく遅れていました。「どこの学区にも設置を」と保護者の願いを受け、日本共産党は全校への設置を粘り強く要求。3月議会では、「全校に計画的に設置する」との答弁を引き出しました。

文化会館の駐車場が有料化されてから5年。経費に對して収入が追いつかず赤字垂れ流し、さらに、負担増で併設する中央公民館の利用率は大きく下がりました。日本共産党は有料化後も市民の声や収支の状況を示して「市長の失政」と厳

「おおたかの森ばかりでいいの…」

あれもこれも、開発優先のH25年度予算

約500億円という過去最大規模となったH25年度予算。その実態は借金的大幅増です。しかも、78億円の借金の61%がTX沿線開発とその関連事業です。身近な公園や街路樹に關係する整備保全費約6億円も、その75%がTX沿線開発地域となっており、「おおたかの森ばかり」との声が聞かれるのも当然です。

さらに国の緊急経済対策も、その8割が用地費で消え、地域経済の新規振興策も市民負担軽減もほぼゼロ回答。災害時の食料備蓄は年度末で47%（H31年度末で55%）と低水準です。

市民や地域の隅々に目を行き届かせ、福祉と防災の街づくりへ力をあつめましょう。

地域経済

市内産業活性化への 新たな探求を

流山市は消費人口も10万を超えるなど、経済活性化の条件があります。フランチャイズ店の増加など流山市の産業構造がどう変化してきているかを把握することが重要です。そして、市内にどのような経営資源があるのかを見直し、それを



身近な要求実現

難聴者のための議会傍聴席に磁気ループを設置
いぬい 紳一郎



大混雑、小山小学校校区の投票所拡充へ
小田 桐たかし



東小の通学路、歩道も道路も広がります
徳増 きよ子



東深井小に市内初の難聴特別教室が実現
植田 和子

